

平成30年3月22日

福岡県宗像市・和歌山県和歌山市の歴史的風致維持向上計画を認定

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称:歴史まちづくり法)」第5条に基づき、福岡県宗像市及び和歌山県和歌山市の歴史的風致維持向上計画について、3月26日に主務大臣(文部科学大臣, 農林水産大臣, 国土交通大臣)が認定を行います。当日は、下記のとおり築国土交通大臣政務官が、主務大臣連名の認定証を各市長に対して直接交付します。

(国土交通省記者クラブ, 農林水産省記者クラブ同時配布)

本計画は、我が国固有の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致の維持向上を図るためのもので、福岡県宗像市は史跡宗像神社整備事業や歴史文化資源ガイダンス拠点整備事業等を、和歌山県和歌山市は紀州東照宮境内修景整備・建造物美装化事業等を位置付けています。(詳細は別紙参照)

記

1. 日時 平成30年3月26日(月) 15:10～
2. 場所 築国土交通大臣政務官室
(千代田区霞が関2-1-3 中央合同庁舎3号館4階)

※冒頭より認定証の手交までカメラ撮り可。

※国会審議等の状況により、開催時間に変更となる場合があります。

＜担当＞ 文化庁文化財部伝統文化課
文化財保護調整室長 軸 丸 真 二 (内線 3143)
" 普及指導係長 佐々木 智 代 (内線 2415)
電話: 03-5253-4111 (代表)
03-6734-2415 (直通)

歴史的風致維持向上計画の認定について

平成 30 年 3 月
文部科学省・農林水産省・国土交通省

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称:歴史まちづくり法)」は、地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを支援すべく平成20年5月に公布され、同年11月に施行されました。

この法律は、我が国固有の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致について、市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国が認定することで、法律上の特例や各種事業により市町村の歴史まちづくりを支援するものであり、これまで金沢市、高山市等64市町の計画を認定しています。

このたび、福岡県宗像市及び和歌山県和歌山市の歴史的風致維持向上計画を3月26日に認定し、認定都市数は66市町となります。なお、今回認定を受ける各市の歴史的風致維持向上計画については、国土交通省、文化庁及び各市のホームページに公開されます。

・文化庁 HP :

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/bunkazai/rekishifuchi/kojokeikaku.html

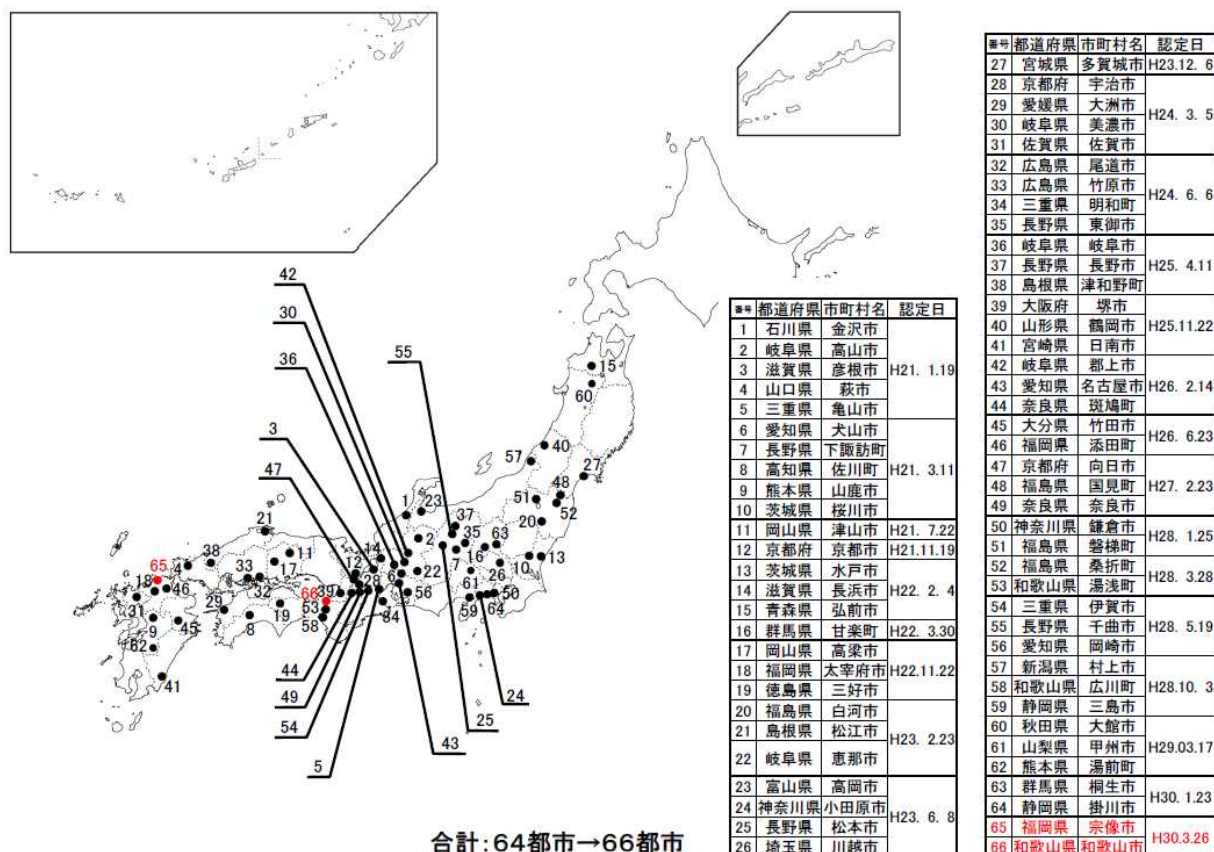


図 歴史的風致維持向上計画の認定状況

■各市の歴史的風致維持向上計画の概要

○宗像市歴史的風致維持向上計画（福岡県宗像市 認定申請日 H30. 2. 19）

国指定重要文化財「宗像神社^{へつみや}辺津宮本殿」や国指定史跡「宗像神社境内」及びこれらの周辺地域と、宗像大社で行われる秋季大祭や、漁業と結びついた恵比寿^{えびすまつり}祭等の伝統行事、唐津街道沿いの宿場町である赤間^{あかましゆく}宿^{ぎおんまつり}における赤間祇園祭等からなる歴史的風致の維持向上を図るため、宗像大社等の歴史的建造物の保存修理・活用、ガイダンス施設の整備、祭礼活動の調査・記録・情報発信等に関する事業等が位置づけられています。



【宗像神社辺津宮】

○和歌山市歴史的風致維持向上計画（和歌山県和歌山市 認定申請日 H30. 2. 22）

国指定名勝「和歌の浦^{わかうら}」や、国指定重要文化財紀三井寺^{きみいでら}「護国院多宝塔^{ごこくいんたほうとう}」及びその周辺地域と、紀州東照宮^{きしゅうどうしょうぐうれい}例大祭や紀三井寺境内の湧水の保全活動、和歌浦湾の漁業^{たいさい}と結びついた^{のぼり}幟^{のぼり}揚げ神事等の伝統行事等からなる歴史的風致の維持向上を図るため、紀州東照宮等の歴史的建造物の保存修理や公開活用、紀三井寺周辺等の修景整備、和歌祭等の祭礼活動に係る活動支援や担い手育成に関する事業等が位置づけられています。



【紀州東照宮例大祭（和歌祭）】

■「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」第5条（抜粋）

第5条 市町村は、歴史的風致維持向上基本方針に基づき、当該市町村の区域における歴史的風致の維持及び向上に関する計画（以下「歴史的風致維持向上計画」という。）を作成し、主務大臣の認定を申請することができる。

2～7 （略）

8 主務大臣は、第一項の規定による認定の申請があった歴史的風致維持向上計画が次に掲げる基準に適合すると認めるときは、その認定をするものとする。

一 歴史的風致維持向上基本方針に適合するものであること。

二 当該歴史的風致維持向上計画の実施が当該市町村の区域における歴史的風致の維持及び向上に寄与するものであると認められること。

三 円滑かつ確実に実施されると見込まれるものであること。

9～11 （略）